

# こみこみ

日立市のコミュニティ情報紙

発行：日立市コミュニティ推進協議会  
編集：コミュニティ情報紙編集委員会  
〒317-8601 日立市助川町1-1-1  
日立市役所市民活動課内 Tel 22-3111  
Fax 21-7000

## No. 2

2000.1.1

### 目次

- ・単会リレー訪問  
日高学区市民自治会 .....2  
諏訪学区明るい市民の会 .....3
- ・ザ・特集 .....4  
「つくばアーバンガーデニング実行委員会」
- ・「私のリーダー論」 .....6  
仙台市 あかねグループ 代表 藤田佐和子さん
- ・グループ情報  
イベントPROJECT TEAM やあ .....7
- ・トピックス .....8  
「コミュニティ女性フォーラム」
- ・わがまちの匠たち .....8
- ・日立のよいところ .....8  
「暮市」



(左上) 河原子ウォーク・烏帽子岩  
(下) 会瀬ウォーク・会瀬海岸付近



9月26日から11月20日まで市内全域27コースで開かれた「市制施行60周年記念・コミュニティマップで日立の魅力再発見ウォーク」。市内の資源・財産の再認識、地域への愛着心の確認、住民交流促進、健康づくりなどさまざまな目的で1083人が参加しました。平成12年度も実施予定です。



# 住民交流を大切に幅広い活動

## 日高学区市民自治会



会長 小松 正  
・事務局 日高公民館  
TEL42-4050  
・世帯数 3,912  
・人口 10,768  
(平成11年6月1日現在)

### 活動方針

昭和50年4月に「市民運動を進める会」として発足し、平成3年、日高学区市民自治会と改称しました。暮らしを守り、住みよいまちをつくり、地域の連帯が深まることを目的とし、これまでのイベント型から日常型活動への転換を図っています。

### 組織

昨年より4局11部体制を導入、従来の事業のよさを残しながら、新たな事業の開発にも柔軟に対応できるよう心がけています。

また10の支部があり、支部を代表する正副支部長、支部内の班を代表する常任委員、町内会を代表する自治委員が支部役員となります。

### おもな行事

市民交流局まつり部が担当する8月のおんもさ祭り、スポレク部が担当する10月のスポレク祭が2大イベント。

おんもさ祭りは商店会の行っていた盆踊りがコミュニティに譲られ発展したもの。  
みこし

パレードや、多くの住民を呼び込む手段として芸能人の公演などを取り入れています。支部役員も準備からかたづけまで協力的。祭りの自慢はふ

るまい酒。役員たちのカンパで賄い、2斗樽と1升瓶数十本。ラベルまで作るという熱の入れようです。

スポレク祭は昔から行われていた町民運動会を継承発展したもの。平成元年からは、地区対抗戦をやめ、だれでも自由に参加できるようにしました。日高小学校を会場に小学生の参加はもちろん、日高中学校は部活動のユニフォーム姿で参加します。親子ハイキング・炊飯会は生活環境局青少年健全育成部との共催で行っています。学区内の諸団体、企業等との連携もよく、「ふれあい、助け合い」を活動の柱に据える日高の特徴が現れています。

そのほか、事務局が担当する広報「日高」の隔月発行、ふれあい部のわら細工教室やゴルフ大会など趣味を生か



ハイキングの後には炊飯会が待っています

した交流事業、生活環境局環境部の一斉清掃・空き缶空きビン回収などの環境美化活動、防災部が進める自主防災組織づくり、福祉局では日高地区社会福祉協議会と連携した福祉活動を進めるなど、幅広い事業が開かれています。

### リーダー

活動の中心は40歳～50歳代の男性が多く、飲み仲間がひとりふたりと友だちを誘い集まったのでチームワーク抜群、活発な活動源となっています。しかし社会人としても現役なためウィークデーの活動が難しく、リタイアした人たちや女性の参加の推進がこれからの課題です。

支部役員は2年制をとるよう協力要請し、定着しつつあります。

### これからの展望

今年度は、将来の活動のあり方の方向性を示すためのコミュニティプランの策定作業を進めています。まちづくりに対する住民の要望を探るために実施した、全住民対象のアンケートは集計・読み取り作業を進めているところです。「住みよい」「心のふれあう」まちづくりプランの完成が楽しみです。

祭りを盛り上げるのはやっぱりみこしだ！



# ふれあいのまちづくりを目指して 諏訪学区明るい市民の会



会長 和田 弘  
 ・事務局 諏訪コミュニティセンター  
 TEL33-3841  
 ・世帯数 2,905  
 ・人口 7,576  
 (平成11年6月1日現在)

## 会の構成

諏訪学区は日立市の中央部に位置し、鮎川・諏訪梅林・諏訪神社など自然環境や歴史・文化に恵まれた地域です。

諏訪学区明るい市民の会は文化体育部・環境美化部・青少年育成部・防災部の4部で構成され、諏訪コミュニティセンターを拠点に活動を行っています。

## 諏訪梅林の美化活動

日立市民なら知らないものはないと言っても過言ではない諏訪梅林は、7月、8月頃になると河川敷でバーベキューをする人たちが多く見られます。しかし、不心得者がごみを持ち帰らないことが地域の人たちにとって悩みの種でした。そこで、環境美化部ではその時期になると1週間に1度の割合でパトロールを実施しています。大きなビニール袋に3つから4つ、空き缶、空きびんがいっぱいになります。



三角布を使って応急処置訓練

## 特色ある防災訓練

防災部で毎年開催している防災訓練は、「避難する前の各自治会における取組みが大切」「防災無線などを使って実際の災害により近い状態を想定する」ことを目標に、今年度は11月28日に行われました。

8時30分から電話連絡網による連絡系統の訓練。いくつかの自治会から地域での災害発生を想定して本部に連絡を入れ、それを受けて本部が防災無線で消防本部に連絡する。と同時にその他の自治会へも知らせる。

9時からは花火を合図に避難訓練。「火事するとき」「けが人が出たとき」など、様々なケースを想定した訓練を、自治会ごとに行いました。

## 幅広いイベント参加者

毎年11月に開催している「ふれあい秋まつり」は、諏訪学区明るい市民の会の主催事業ですが、諏訪コミュニティセンターの利用団体の発

表会という形でとらえています。諏訪学区明るい市民の会もひとつの利用団体であるという考え方です。その結果、幅広い地域住民の参加が見られています。

## 自治会交流の推進

諏訪学区の特徴として自治会の連携の強化に力を入れていることがあげられます。

ソフトボール大会、駅伝大会なども自治会対抗とすることで、自治会内の結束の強化につながっています。また、自治会長同士の交流会を定期的にも実施することも検討されています。

## 将来の展望

これから目指す学区の将来像について和田弘会長は「役員主導ではなく、住民が引っ張っていくような、ヒトとヒトのふれあう、そして親子のふれあいを重視した、明るい地域づくりを目指したい」と話されました。



秋祭りは利用団体の発表と住民の交流の場



# 花のあるまちづくりを応援します！

つくばアーバンガーデニング実行委員会

ザ・特集

市民をベースにプロを含む市民・行政・大学が協力して花をとoshitamachiづくりをするつくばアーバンガーデニング実行委員会を紹介します。1999年花のまちづくりコンクールでは建設大臣賞を受賞。11月15日つくば市にある事務局を訪ねるとイベント『つくば100本のクリスマスツリー』の準備にスタッフがひとりで大忙しの様子でした。

## このしくみのできたのは？

1997年エポカルつくば（国際会議場）が作られたのをきっかけとしてつくば市は市のセンター部分を美しく花でいっぱいにしたと考えました。造園業者に発注して作るのではなくなんとか市民の手で出来ないものかという市の考えを受けてこれまで『女性庭師講座』『花と緑のまちづくり』などの企画実績がある「暮らしの企画舎」がしくみ作りを提案しました。各機関へ働きかけをして実行委員会や市民ボランティアと共に現在の形に作り上げました。それが『つくばアーバンガーデニング』です。

園芸農業を發展させて住民の交流を推進出来たらいいな。  
市民参加のまちづくりが出来たらいいな

市 + 暮らしの企画舎

女性庭師が活躍できる場がないかな。既成団体と関係ない個人がどんどん参加できるしくみがいいな。



わたしたちみんなガーディナー



つくば100本のクリスマスツリー

交流部会の企画です。

子どもも大人も外国から来た人もみんなで参加。植木鉢は手作り。

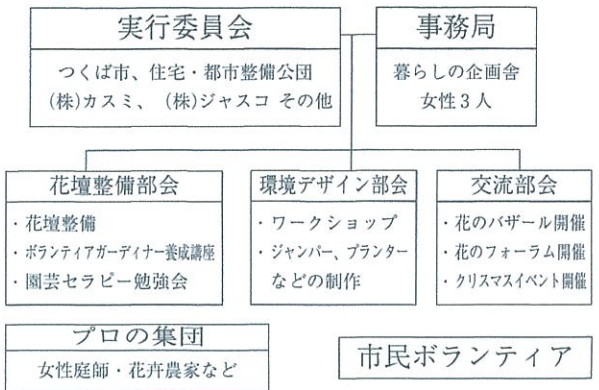
もみの木は植木屋さんに来年までめんどうを見てもらい、コンサートをしたり、コンクールをしたり、ツリーを囲んで様々なイベントがあります。

## つくばアーバンガーデニングのしくみ

つくばアーバンガーデニング実行委員会は、実行委員として参加する市、公団、企業などが資金や資材の提供を行い、大学教授、デザイナーなどが部長をつとめる3つの部会に別れてユニークなアイデアを出し合い事業を企画しています。活動は賛同する個人ボランティアが中心となっていますが、花卉農家、シルバー人材センター、女性庭師などのプロとして報酬を得て参加する集団もあります。「暮らしの企画舎」の

人の女性が事務局として事業の全体を支えています。

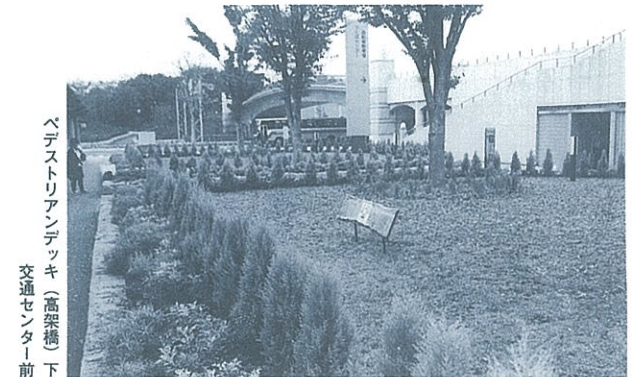
市民活動を単なるボランティアとしてとらえるのではなく、市民活動から生まれたプロの企画集団、そこから育った専門家集団などが核となり、行政や企業が資金提供やネットワークづくりに協力し、一般市民を巻き込んだこの方式は、日立市のコミュニティの会にもおおいに参考になると思います。



## 活動の広がり

ガーデニングをやってみたいという方の相談にのるアーバンガーディナーの派遣などに取り組んでいます。さらに、市の中心部ばかりではつ

まらない、自分の地域もきれいにしたいという方が出て来た事から、中心地域以外の花作りを推進する、「花守りさん制度」をとるようになりました。



ベネストリアンデッキ(高架橋)下 交通センター前

問い合わせ先：つくばアーバンガーデニング実行委員会

事務局 〒305-0821

つくば市春日3-10-11 メソードつくば I-103

TEL&Fax: 0298-58-0874





## 本人のやる気とまわりの応援

藤田 佐和子 仙台市・あかねグループ代表

あかねグループの代表となって、早いものでいつのまにか4年になろうとしています。もうそろそろ代表を交代しようと考えていたら、NPO法人として新たに出発するためにも、あと2年間は続投ということになりました。通算6年間も代表の椅子に座るメリット・デメリットを考えると、6年という数字は境界線に位置します。そこで、「あと2年間ね。その後は誰か引き受けて」と話すと、「次の代表を育ててから退いてほしい」と言われました。リーダーというものは、育てようとして育つものなのでしょうか？

「どうしたらリーダーが育ちますか」という質問に対して、大阪ボランティア協会のHさんは「おだてて2階に上げ、椅子をはずしてしまえばいいんですよ」と答えていましたが、2階にひとり残された次期リーダーは、不安と焦燥、孤独の中、頭を抱え込み、床にがっかりと膝をついているかもしれません。腹をくくって『やるしかない』と、リーダーの務めを懸命に果たそうとする人、こんなはずではないとブツブツ愚痴をこぼす人、人によっていろいろでしょうが、素敵なリーダーになれるかなれないかは、おだてて椅子をはずした人たちの応援と本人次第！要は、育てようとする土壌と育ちたい（自己を高めていきたい）と思う、本人の自発的な気持ちがあつてこそ。2階に上げられた人は『この人なら出来るはず』と後押しされたのではないのでしょうか。もっと自信を持って進みましょう。

ところで、皆さんの考えるリーダー像とはどんなものでしょう？

まさか、何でもできる100点満点のスーパーマン（ウーマン）をイメージしていないでしょうね。多才で、包容力があつて、優しく、人を惹きつける魅力があつて、パワーがあつて、協調性かつ独創性があつて、責任感が強くて頼れる存在？

これら全てを求められたら、誰だ

って逃げ出したくなりますよね。もつとも、1000万人にひとりぐらいはいるかもしれませんが・・・

最近、私は、「リーダーっていつも強くなくてはいけないの？」「いつも前を向いて走らなければいけないの？」と思うことがあります。リーダーも人の子。時にはゆっくり歩きたいときもあれば、寄り道をしたいときもある。矢面に立っている分、傷ついて落ち込むときもある。みんなと同じです。ただ、ちょっと違うのは立ち直りが早いだけ。イヤなことや、できないことがあつて、その日がつくりきても、次の日はけろっと忘れて動き出す。否、意識的に忘れようとすることもあるし、いつまでもクヨクヨしているほどの時間が無いともいえるでしょう。リーダーが肩を落としているとき、「頑張つて！応援しているわよ」「代わつてあげるから、ちょっと休んでいて」という一声で、リーダーはまた立ち上がり進んでいけます。

オールタナティブリーダーという言葉聞いたことがあるでしょうか？オールタナティブの日本語訳は「もうひとつ別の」という意味で、みんなのイメージしているものとは

別の、あるいはそれに代わるリーダーの存在を表現している言葉で、時折、耳にするようになりました。そろそろ、こうあらねばならないというリーダー像は捨てませんか？誰だってリーダーになれます。リーダーになりたいと思ったその瞬間から、あなたはリーダーです。ただし、最低限必要な条件があります。

それは自立していること。誰かに言われたからとか、聞いたからではなく、自分の目で見て判断（自己選択）し、決断（自己決定）し、自己責任をとることが、リーダーのみならず、人として必要なことだと思います。自立した一人一人が、同じ目標の下、共に力を出し合い、支えあつて協働していけば、カリスマ的なリーダーのいるグループよりも、はるかに柔軟性に富んだ、伸びやかなグループとなり、後継者問題も解決していくのではないのでしょうか。

最後に矛盾しているようですが、「リーダーとは、7人に声をかけ、断られても、8人目にアタックしていく人」といわれた言葉が忘れられません。そんなパワーを私は持ち合わせていませんが、何かあったときふと思い出す言葉です。



配食サービスで人に優しい地域活動を行っている「あかねグループ」



# 元気な日立を願う若者たち

## 日立市・イベント PROJECT TEAM やあ

### 「やあ」ってなんのこと？

日本古来から続く伝統行事である「祭り」のみこしを担ぐときに発する掛け声であり、担ぎ手同士が心を通い合わせ、共通の目的に対し協力して行うということに通じます。

また、多くの人がすぐに思い出すこととして、日常会話のなかで気さくな仲間内で交わす挨拶としても「やあ」という言葉は親しみがあり、よく使われます。

新たな人間関係、日立の発展を築くことを期待して、この名が付けられました。

### 創設とメンバー

平成9年9月バブルがはじけ、かつての賑やかさを失った日立新都市広場に活気を取り戻そうと、活動費も資金調達のメドも立たないまま、11名足らずの15歳～20歳代後半までの高校生・大学生・社会人で組織さ

れました。現在は40名あまりの多勢となり、生き生きと活動しています。

### 活動内容・拠点と実績

「やあ」は全国でも珍しいイベントづくりを目的とした青少年団体です。シビックセンターを拠点として幅広く活動しています。

各自が考えた企画書を持ち寄り、全員で検討。選ばれた企画に肉付けや改良を加えて案をまとめ、実践活動へと流れていきます。

初めてこの会の名称を聞いた人でも、実績を言えば「ああ、あれが」と知る人もいるでしょう。

### 今年の主な活動

- ・日立生まれのスポーツ「THEバンボン大会」  
(10月17日に開催)
- ・ひたち伝統芸能シリーズ99「跳ねる」に司会として参加。  
(10月9日～10日に開催)

- ・スポレクフェア（10月10日に開催）でステージライブを展開
- ・おきらくライブの開催（年4回）
- ・日立電鉄バスに小学生が絵を描く試みの企画

### メンバーの声

「やあ」の会長、小林淳君（17歳）は、「普段付き合うことのできない大人と友だちのように付き合うことができる。イベントの立案・企画に参画することで、責任感が芽生



会長の小林くんえるし、貴重な経験となる。」と語ってくれました。

また馬籠さや香さん（19歳）によると、「楽しかったと声を掛けてくれたり、多くの年代の人と触れ合うきっかけができるのがうれしい」とのことです。

大人には思いもつかないような斬新な発想を持つ子どもたちの、自己表現の場となっていることが伺えます。

### これからの抱負

各種イベントの立案・企画に「よりよい日立の発展」を合言葉に取り組み、老若男女を問わず、多くの人に楽しんでもらえるよう、なおいっそうPR活動に努めたいとのこと。

是非イベントや街の中で出会ったら「やあ」と声を掛けてください。

### 問い合わせ先

日立シビックセンター  
Tel (代) 24-7711



活動の拠点・新都市広場にて

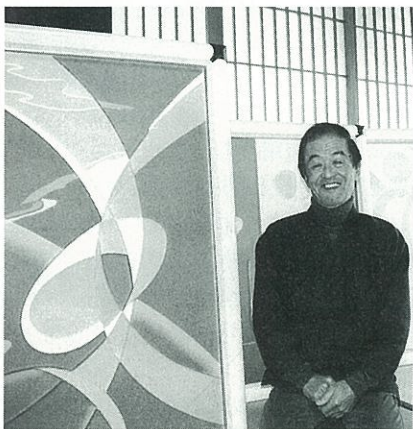


## わがまちの匠たち

しょうさいすき  
抄彩漉・篠原國芳さん(川尻町)  
和紙に魅せられて

昭和50年代から切絵、挿絵を発表し、更に和紙の魅力に挑戦する制作は、楮を加工して和紙を漉くことから始まり、染色、デザイン、額作りに至るまですべての素材が自らの手で生み出されています。

自然にこだわりをもち、植物・温度・湿度・空気・天候・製紙技術などと葛藤しながら、短い歳月で斬新な作品を創作するのは研ぎ澄まされた感性の持ち主であることの証といえるでしょう。



「子どもの頃から、丈夫で光を反射せず、柔らかさ、ぬくもりを感じさせる和紙が大好きでした。楮という素材を大切に、特に夢の中で見るようなソフトな私世界の作品を作りたい」と篠原さんはおっしゃっていました。

生きた素材からは命の鼓動が感じられ、きめ細やかな繊維はソフトな感触を触らずして感じさせ、やわらかいパステルカラーは春の訪れを告げます。季節の訪れ、風の声に耳を傾けたい方は、作品を観ていただきたいと思います。「和紙」という素材の持つやさしく暖かい手(心)のぬくもりが観るものの心へゆっくりと浸透し、伝わってくることでしょう。

[紹介者・関山一夫さん(川尻町)]

## トピックス

11月27日助川コミュニティセンターにて各単会の会長、女性リーダーなど約100名が参加し、「地域の中で心豊かに～さあ、あなたの出番です」というテーマで第12回コミュニティ女性フォーラムが開催されました。

(財)あしたの日本を創る協会広報部長の佐藤長吉郎氏が地域活動の必要性・活動を進めるための留意点等について具体的事例をもとに基調講演を行い『まちづくり』は堅苦しいものではなく楽しくできるものであり、大人から子どもまでが楽しめる空間を確保することが大切と話されました。

その後行われた分散会では、熱心な話し合いがもたれました。

話し合われた主な内容

・女性や青少年の居場所を作り

## まちづくりは楽しくできるもの

～コミュニティ女性フォーラム～

出そう

- ・若い人の参加を促すにはどうしたら良いか
- ・女性フォーラムの成果を生かせる場がほしい
- ・男性・女性の区別をする集まりは？
- ・フォーラム参加者の意見を学区にどう反映させるか
- ・若い人や女性の意見を取り入れる方法は？



## 暮市

### 日立の よいところ

年末の風物詩、暮市。正月の注連飾りやお飾りを販売する露店が軒を並べます。

平成11年末も12月25日の久慈・本町通りを皮切りに、平和通り、よかっぺ通りなどの市内各メイン通りを賑わせます。



## 編集後記

やっと2号を迎えたばかりの「こみこみ」編集部ですが、編集会議ではいつも、口の角から泡が飛びかねない勢いの、議論と笑いが飛び交っています。正確に言いますと、飛び交う言葉のもと、男性諸氏は、やや押され気味ではありますが。

何はともあれ、日立市のコミュニティ活動の情報源になり、潤滑油になり、起爆剤になりたいという欲張った願いが、編集委員の共通した思いであります。お読みいただいた方からの、叱咤激励のご意見をお待ちしています。